

次期「あいち はぐみんプラン」について

概要（特徴）

1 プランの名称

「あいち はぐみんプラン 2015-2019（仮称）」

2 プランの位置付け

「少子化対策推進基本計画」から「子ども・子育てに関する総合計画」へ

⇒子ども子育てに関する課題は相互に関連していることから、様々な分野の支援を一体的に行うことで解決を目指す。

＜一体的に策定する計画＞

- 幼児教育・保育の確保を中心とした子育て支援の充実を図る「**子ども・子育て支援事業支援計画**」
- 子どもの貧困の改善を図る「**子どもの貧困対策推進計画**」
- 虐待の予防と早期発見・早期対応を進める「**児童虐待防止基本計画**」

3 重点的な取組

一体的に策定する計画では、新たな取組・拡充を進める。

- 子育て支援の充実
 - ★待機児童の解消・多様な保育サービスの充実
 - ★放課後児童クラブ・放課後子供教室の整備
- 子どもの貧困の改善
 - ★学校を窓口とした福祉関連機関との連携
- 虐待の予防と早期発見・早期対応
 - ★妊娠期からの虐待予防対策

社会情勢を踏まえ、更なる取組を進める。

- ワーク・ライフ・バランスの推進
 - ★「イクメン」を応援する職場環境づくりの促進
 - ★地域での「イクメン」の養成支援
- 結婚支援
 - ★企業等と連携した出会いの機会の提供

4 「各主体に求められる責務」の新設

子ども・子育てに関する課題を解決するためには、県、県民、企業、市町村、地域社会が一体となり、社会全体で子育て支援に取り組むことが重要である。

「各主体に求められる責務」を新たに設け、それぞれの立場で子育て支援に取り組む姿勢を明確にする。（第1章 IV）

5 記載内容の見直し

○フォローアップできる記載方法

第3章「子ども・子育てに関する課題と取組」において、「現状と課題」に対応する「取組の方向性」を新たに設けるとともに、「今後の取組」を具体的に記載し、フォローアップできる記載方法に見直す。

○数値目標

基本施策ごとに数値目標を設定し、「5年後のあいちの姿」として位置付ける。

【記載項目】

＜今までの計画＞

- 現状と課題
- 今後の展開方法
- 重点チェック項目（数値目標）

＜新たな計画＞

- 現状と課題
- 取組の方向性
- 今後の取組
 - ※実施主体を明確化
- 5年後のあいちの姿（数値目標）



○市町村等の先進事例の紹介

市町村等の先進事例を紹介し、県内で広く取組が行われるよう後押しする。

6 プランの進捗管理

制度や社会情勢の変化等を踏まえ、愛知県子ども・子育て会議（愛知県社会福祉審議会児童福祉専門分科会）を活用し、プランの継続的な点検・評価・見直しを行っていく。（P D C Aサイクルを回していく。）